

2004 年度 委員会活動成果報告

(2005 年 3 月 18 日作成)

委員会名	痴呆性高齢者ケア環境小委員会	主 査 名：児玉桂子
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築計画委員会	委員長名：服部岑生
設 置 期 間	2004 年 3 月 ～ 2006 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	高齢者施設の対象者のほとんどが痴呆であり、国が示す2015年(団塊世代が高齢期を迎える)に向けての高齢者対策も中心は痴呆性高齢者である。建築と痴呆ケアの両分野が連携して、痴呆性高齢者にふさわしい環境を研究・実践・整備についての調査	
委員構成 (委員名(所属))	委員は、各地で高齢者等の住宅改修に関わっている研究者・実務者を中心としている。 児玉 桂子, 赤木 徹也, 影山 優子, 林 悦子, 足立 啓, 石井 敏, 糸山 剛, 狩野 徹, 古賀 誉章, 鈴木 義弘, 橋 弘志, 中 祐一郎, 浜崎 裕子, 森 一彦	
設置 WG (WG 名: 目的)	痴呆性高齢者ケア環境WG (痴呆性高齢者の居住環境の調査)	
2004 年度予算	308,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	年間4回の委員会を開催し、毎回10名前後の委員が参加し活発な議論を行った。
得られた成果	<p>(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)</p> <p>1) スウェーデンではどのように痴呆ケアに環境を生かしているか 痴呆ケアの専門家インゲ女史による公開研究会に約50名の参加。</p> <p>2) 痴呆性高齢者への施設環境づくりセミナー 日本痴呆ケア学会と連携して12月11日実施のセミナーに200名参加登録 施設環境づくりの方法と施設環境づくり実践報告に基づき、報告書(施設環境づくり実践ハンドブック 2)を作成する (このセミナーは長寿科学振興財団の助成で実施)</p> <p>3) グループホームの環境と高齢者の生活</p>
	委員会 HP アドレス :
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 見学会やシンポジウムを通して、行政や実践の場における最新の動向や実態・問題点を見いだすことができた。
その他評価すべき事項	